流水のはたらきと地形

ポイント1 風化(ふうか)と流水のはたらき

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

地表にある岩石(がんせき)が，気温の変化や雨風などによって，もろくなることを＿**風化**＿という。

岩石が流水や風などでけずられることを＿**侵食**(しんしょく)＿という。

流水によって，けずられたものが運ばれることを＿**運搬**(うんぱん)＿という。

運ばれてきた土砂(どしゃ)が，水の流れがゆるやかになるところにたまることを＿**堆積**(たいせき)＿という。

土砂(どしゃ)が海や湖に流れこんだ場合，

粒(つぶ)の＿**大きい**＿（表1）ものから＿**早く**＿（図1①）沈む。

泥(どろ)などの粒の＿**小さい**＿（表1）ものは，波や潮(しお)の流れにのって河口から＿**遠く**＿（図1①）まで運ばれやがて堆積(たいせき)する。

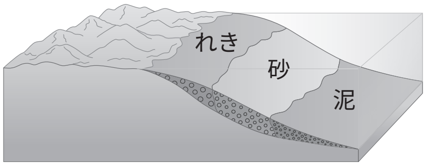
運ばれてきた粒が積み重なると＿**地層**(ちそう)＿（図1②）ができる。

表1 堆積する粒の名称と大きさ

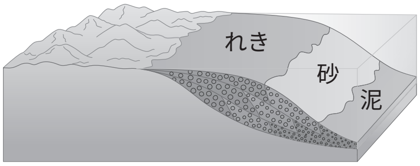
粒の名称	粒の大きさ
れき	粒の直径：2 mm以上
砂	粒の直径：$\frac{1}{16}$（約0.06）～2 mm
泥	粒の直径：$\frac{1}{16}$（約0.06）mm以下

図1 粒の大きさと堆積のようす

①粒の大きいものは河口近くで，小さいものは遠くで沈む。



②運ばれてきた粒は積み重なっていく。



ポイント2 流水のはたらきと地形

＿＿＿にあてはまる語句を確認しましょう。

流水による侵食(しんしょく)が長い時間続くと，平らな土地に

＿**V字谷**＿（図2）という深い谷がつくられる。

川の上流でけずりとられた土砂(どしゃ)は，流れがゆるやかになる山のふもとで堆積(たいせき)し，
扇状地(せんじょうち)という扇形(おうぎがた)の平らな土地がつくられる。
└ 図3

流水が海や湖に流れこむところでは，土砂の堆積によって，河口を中心として，
三角州(さんかくす)という低い土地がつくられる。
└ 図4

図2 V字谷

図3 扇状地

図4 三角州

確認テスト

次の問いに答えなさい。

(1) 急激な気温の変化や雨風などのはたらきによって，地表に出ている岩石の表面がもろくなってくずれていく現象を何というか。　**風化**

(2) 流水や風によって，岩石がけずられることを何というか。　**侵食**

(3) 流水によって，けずられたりしてできたものが運ばれることを何というか。　**運搬**

(4) 流水によって運ばれてきた土砂が，流れのゆるやかなところにたまることを何というか。　**堆積**

(5) 川の水によって運ばれてきた粒が積み重なると何ができるか。　**地層**

(6) 流水による侵食の作用が長い時間はたらいてできる深い谷を何というか。　**V字谷**

(7) 川が山地から平野に出るところに土砂が堆積してできる地形を何というか。　**扇状地**

(8) 川が平野から海に出るところに土砂が堆積してできる地形を何というか。　**三角州**